

九転十起

（協力隊だより）

平成27年4月から 地域おこし協力隊 活動開始！



地域おこし協力隊のメンバー。（上段左から）澤田、山下、稻垣（下段左から）金石、藤田、左座

当初は定員3名での募集でしたが、予想を上回る16名の応募があつたため、合計6名が採用されることになりました。それぞれ「漁業文化の発信」・「水見市のまちづくり拠点と空き家対策」・「農業の6次産業化と農村レストラン」と大きく3つの分野に分けて募集を行い、それぞれの分野に意欲あるメンバーが集まりました。

今回からこの「九転十起（協力隊だより）」で3ヶ月ごとの季刊で地域おこし協力隊の各協力隊員が行った活動報告や、それぞれが体験した水見のよいところを皆様にお伝えして、皆様から活動へのご提案などをいただければと思っていきます。これからよろしくお願ひいたします。

発行者：水見市地域おこし協力隊
住所：水見市鞍川106
水見市地方創生と自治への
未来対話推進課 気付
電話：0766-74-8013

水見の皆さん、こんにちは！

協力隊員自己紹介

釜石拓真
かまいし たくま
23歳 青森県出身

藤田智彦
ふじた ともひこ
28歳 千葉県出身

稻垣信志
いながき しんじ
45歳 愛知県出身

育ちは東北ですが芸術系大学に通うため上京し、ビデオカメラマンをしながら生活していました。漁師さんを取材したドキュメンタリー映像や展示を制作しています。「地域おこし事業」に携わった地元で多くの人々を「おもしろい」と思ってもらえるように、また、みんなさんが地域に見えてきた経験を生かし、自分たちでアート・イベントの企画運営なども再確認してもらえるように活動しています。また、これまでに撮影したり、まちづくいに繋げていきたいと思いません。みなさんはどちらかが好きなことを語り合いましょう！

左座進介
さざ しんすけ
31歳 埼玉県出身

埼玉県さいたま市から来ました左座進介と申します。私は現役の大学生で漁業を専攻しています。調査で水見市を訪れた際、小杉の番屋でたくさんのお漁師さんにお世話をなり、そのときの感動が忘れられず水見に移住してきました！

そこで、魚を調理して、魚を食べながらその家の使い方を一緒に考えていくワークショップを開催した経験もあり、水見市でも空き家を活かします。まずは共に住む協力隊員達と話し合いながら、若い人たちが集まる拠点を作り上げていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

以前は富山市の里山を中心、農業、里山のイベントやんやお婆ちゃんの生活の心を伝い、小さな活動団体が恵むSNS情報発信を都心で行いました。水見市は里山の食材の宝庫であることを積極的にPRしていました。皆さんは2番目の年長者ですが、一緒にR庫で働いていきたいです。水見市は45歳で協力隊の中では2番目のお手伝いします。

山下健太郎
やました けんたろう
34歳 福岡県出身

私は市内にある空き家を活用し、都市の人達を水見に引き込むために活発にアピールしていきたいと考えています。自分たちで家の床を張るなど、補修をしながらその家の使い方を一緒に考えていくワーキングショップを開催した経験もあります。自分たちで家の活動をしていく予定です。まずは共に住む協力隊員達と話し合いながら、若いうい人たちが集まる拠点を作り上げていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

澤田典久
さわだ のりひさ
49歳 福井県出身

たて協今テルマネージャーを経て、金融機関、団体職員、ふたりで地域おこし協力隊としてお手伝いさせました。ただくことになります。農業の6次産業化プランと一緒に野菜ソムリエとして地域おこし協力隊では最も豊かな経験で頑張っています。今後どうぞよろしくお願いいたしました。

力と心を合わせて出来る 高岡御車山のしめ縄

稻垣信志

富山県で行われている素晴らしい春祭りの一つに、高岡市で毎年5月1日に開催される高岡御車山祭があります。この祭りの装飾品の一部は、速川地区の中にある30数世帯の人々が暮らす床鍋地区で作られています。床鍋地区で生まれ育った中澤フミ子さん（83歳）にお話を聞いてきました。床鍋でのしめ縄づくりは、平成4年頃、同じ地区に住む松尾さん、松井さん、そして中澤さんの3人から始まりました。当時は、富山市の民家のしめ飾りの注文でした。しかし区のしめ縄が綺麗であるといふ噂が広まり、同地区に住む岡野さんを通して、高岡市の民家のしめ縄も作ってもらえないかと依頼を受けました。今は御車山祭りの日、街の沿道を飾るために10kmもの長さのしめ縄を作るまでになっています。現在、しめ縄の縫い子は9人に増えています。

ひみこりなハーナー

協力隊員がみつけたところ
素朴な水見のいいところ



高岡御車山祭の花飾りは
床鍋地区で作られている



編んだ縄



中澤フミ子さん

藁を柔らかくするために地区の若い衆も協力しています。しめ縄は一人、二人でできるものではないよ。皆の力と心があわさつて初めて奇麗なしめ縄が出来るんです。」どういふ謙虚なフミ子さんの言葉に心打されました。

「新鮮」な自然 水見でも伝えたい

藤田智彦

「しめ縄は一人、二人でできるものではないよ。皆の力と心があわさつて初めて奇麗なしめ縄が出来るんです。」とコノシロ。酢との相性がよくしめ縄が出来ます。」と心打たれました。

「コノシロの魅力を水見でも伝えたい」と左座進介

やコハダと呼ばれるサイズでく旨味の強い魚です。シンコ

やコハダと呼ばれ下魚扱いです。そんなコノシロを灘浦定置の漁師さん

は拾い集め、番屋でまかない用に干物や真子煮にしていま

す。これが食べると驚くほど

美味しい骨もほとんど気にならなくなります。作り方を教えてもら

う。さつくオーブンしたばかりの魚々座で調理しまし

た。集まつた水見市民は怪訝

「新鮮」な自然

藤田智彦

▼首都圏から越してきて、立派な庭のある家に住んでいます。これまで感じたこと

のないほどに、自然との距離が近い。たとえば朝、奇妙な鳴き声で目が覚める。これはキジであると二日目の朝にはわかつた。常連らしい彼は、我が物類で庭を

闊歩し、指定席の庭石に上

り高らかに鳴く。そうした姿を日常のなかに観察でき

る生活が新鮮だ。▼こんな話もある。夜も更けた頃、縁側から何気なく庭を見遺るなど、なにかがいる。中型犬くらいの影がすぐ傍を動

いている。ほどなくこちら

の住民に「あれはなんだつたのか」と問うと「タヌキかな。こちらじやムジナ」と答えた。ぱつ



水揚げされたばかりのコノシロ

編集後記

初めて地域おこし協力隊として新聞を発行する個性で、自分たちの活動お思お待ちます。強の面で、自分の納め

第一号編集担当 山下健太郎

facebookページ
「富山県水見市
地域おこし協力隊」
開設しています。
「himikoshi」
で検索！

今後の活動予定

漁業文化発信・まちづくり・農業6次産業化それぞれの分野の活動予定です。

漁業文化発信担当

（釜石・左座）

◆漁業文化発信担当の釜石は水見で催される祭や日常の営みを映像に残し、発信する活動を行っています。左座は実際に漁港に赴き漁の手伝いを行つて漁師さん達との交流を深め、そこでいただいた珍しい鮮魚をひみ漁業文化交流館・魚々座できばきながら解説し、来館者の皆さんと実食して水見の魚の魅力を伝える活動を行っています。

まちづくり担当

（藤田・山下）

◆まちづくり担当の藤田・山下は現在まちづくりバンク（仮称）の設立に向けた話し合いに参加しています。中央町交差点角の設立予定地では空き店舗を利用したイベントも随時開催予定です。また、夏前からは空き家の悉皆（しつか）いじ調査を始めます。町中の住宅をくまなく回り、空き家の状況を確認して今後のまちづくりに活かしていきます。

農業6次産業化担当

（稻垣・澤田）

◆農業お手伝い：▼サツマイモ苗植え（5月上旬から6月下旬予定）▼畑の電機柵取り付け（5月中旬から下旬）▼畑の除草（逐次）
◆イベント：▼6月6日（土）虫送り祭り（直径1m長さ8mのたいまつを燃やし、鐘や太鼓を鳴らす）▼7月19日（土）白が峰ウォーキング（速川公民館から白が峰までの全長4kmの古道を歩く）▼百合と音楽の観賞会（白が峰ウォーキングの後に野外コンサートと軽食の出店）▼速川以外の各地の催し事にも参加いたします。

